

関連項目：教育活動プラン①

## 一人ひとりが活躍できる場をつくり賞賛の機会を増やす

### 目的

みんなのために取り組もうとする自主的な行動を継続し、全校生に広げることが目的としています。そこで、互いに認め合い自己肯定感を高めるために、月目標と関連させ、学級で〇〇名人を選んで賞賛したり、チョボラ活動で活躍する場やそれらを紹介し合う花咲山活動を通して賞賛したりする場を多く設定することにしました。

### 内容

#### ● 月目標と関連させ、学級ごとに〇〇名人などを選んで賞賛する

- ・ 月目標は、『本山っ子のルール①あいさつや返事をしよう②きれいな学校にしよう③時間を守ろう④やさしい言葉を使おう』や『本山っ子憲法』の中などから、児童会が実態に合わせて自主的に選びます。
- ・ 4・5月は、「ここにこあいさつ」の目標で、児童会が発見したり、学級で推薦されたりした子ども達をあいさつ名人としてお知らせボードで紹介しました。6年生は、あいさつ活動を継続しています。
- ・ 7月・10月は、「だまってそうじをしよう」という月目標で、そうじ名人を学級で選び（学級全員もよい）を全校朝礼の時間に紹介し、全校生が拍手で賞賛しました。



あいさつ名人の紹介ボード

#### ● みんなのためになる「チョボラ活動」の推進

- ・ トイレのスリッパをきちんとそろえる活動から始まった「チョボラ活動」は、今年で5年目を迎えます。
- ・ 一人ひとりがどのような「チョボラ活動」をするのかを決め、毎日取り組んでいます。
- ・ 高学年は、全校生の手本になることを自覚するために、学級で「チョボラ活動」チェック表をつくり、シールを貼って活動の足跡を残しています。
- ・ 「チョボラ活動」で、みんなのことを考えた取組があれば、その日の「花咲山活動」で紹介し、活動の幅を広げています。



登校直後の玄関清掃チョボラ

#### ● 全校挙げての「花咲山活動」の実践

- ・ 豊中町の保幼小中学校の連携の一環として人権感覚の高い子どもを育てるために「花咲山活動」「ふわふわことば」を使う活動を推進しています。
- ・ 帰りの会で、その日に見つけた友だちのよい行いを紹介し合います。その中から、だれかに優しくしたことだけでなく、みんなのためになるような行いを出し合って賞賛します。
- ・ よい行いをした子どもだけでなく、よい行いを見つけた子どもも学級から選び、全校朝会の場で紹介し、全校生が拍手で賞賛します。
- ・ 「花咲山活動」で認められたことの中から代表的なものをひとつ選んで、全校生全員の行いを掲示しています。



全校生「花咲山活動」の掲示

### 成果

自己肯定感(自分には良いところがあると答えた子ども)が、1学期より全校生で7ポイント増加しました。また、全校生一人ひとりがよい行いを紹介する「花咲山活動」で賞賛されており、みんなのためになるチョボラ活動への意欲化につながっています。